



2025 年 10 月 31 日

各 位

会 社 名 株式会社 WOLVES HAND
代表者名 代表取締役 CEO 兼 COO 北井 正志
(コード：194A、東証グロース市場)
問合せ先 執行役員 CFO 田中 哲生
(TEL. 06-6599-9106)

光免疫療法（新規リポソーム試薬とレーザーを用いた光線力学療法） 共同研究コンソーシアムの立ち上げに関するお知らせ

2024 年 9 月 13 日付「株式会社 State Art との共同研究契約締結のお知らせ」、2024 年 10 月 25 日付「動物用リポソーム試薬とそれを用いたレーザー光線治療法確立に向けた臨床現場での臨床試験開始のお知らせ」として発表した新規リポソーム試薬およびレーザーを用いた光線力学療法に関する研究について、この度、2025 年 10 月 31 日開催の経営会議において、「光線力学療法（新規リポソーム試薬とレーザーを用いた光線力学療法）共同研究コンソーシアム」を立ち上げることを決定いたしましたのでお知らせいたします。

本研究では、ハイブリッドベクタ(*1)に抗腫瘍効果を有する IR-783 (*2) を内包した IR-783 内包ハイブリッドベクタ (IR-783 Liposome) をペットに投与し、飛鳥メディカル株式会社が開発したレーザー装置のレーザー光を照射することで、癌細胞のアポトーシス（プログラム細胞死）の誘導、腫瘍の縮小・壊死を促す治療法の確立を目指し、これまで当社の臨床現場を中心に臨床研究を実施してまいりました。現時点での臨床研究の結果、約 10 例において腫瘍の縮小あるいは消失が確認されました。特に口腔内腫瘍に対する効果は顕著でした。

(*1) リン脂質と微量の界面活性剤から構成されたリポソーム。リポソーム自体に制癌作用があり、正常細胞には影響を与えず、癌細胞に対してのみアポトーシスを誘導します。

(*2) ICG（シアニン色素）の誘導体であり、783nm の光を吸熱して発熱。IR783 自体に抗腫瘍効果がある。

今回、2025 年 10 月 21 日付で開示いたしましたとおり、飛鳥メディカル株式会社の完全子会社化を決定し、完全子会社化のためのすべての法的手続が本日完了したことを契機として、共同研究コンソーシアムの立ち上げを決定いたしました。子会社となった飛鳥メディカル株式会社とともに、本件共同研究コンソーシアムに賛同されるグループ内外の全国の動物病院、学術機関、パートナー企業との連携を強化し、IR-783 Liposome 技術とレーザー照射技術の最適化、安全性および有効性の検証、ならびに臨床研究データの蓄積を加速度的に推進する予定です。

動物医療における癌治療は、一般的に外科手術・化学療法・放射線治療の三大治療法が主流ですが、動物の高齢化や全身の状態の制約により、これらの治療を選択できないケースも多く存在します。そのため、身体への負担が少なく、かつ高い治療効果が期待できる新たな治療法の開発が強く求められています。本治療法が確立・実用化されれば、癌治療に悩む飼い主とペットに対して新たな選択肢を提供できるとともに、獣医療分野における癌治療の可能性を大きく広げるものと考えております。

引き続き、当社は、本研究を通じて、ペットの QOL（生活の質）向上および動物医療における新しい治療価値の創出に貢献してまいります。

【現時点で決定しているコンソーシアムに参加予定の研究パートナー病院（順不同）】

- ・まねき猫ホスピタル（大阪府）
- ・新庄動物病院（奈良県）
- ・アリス動物病院（埼玉県）
- ・アイペット動物病院（千葉県）
- ・させ犬猫の病院（栃木県）

なお、本件が当社業績に与える影響は軽微であります。

以上